

安里屋ゆんた みやーく

本調子

中 工 七 合 七 合 七 七 五 工 四 上

中 工 合 工 合 五 工 ○ 四 合 上 合

中 上 合 上 合 乙 四 中 上 老 四 ○

四 合 上 合 中 工 中 合 上 合 四 工

上 中 工 合 工 五 工 合 工 合 五 合

五 七 工 合 五 七 五 合 工 中 上 合

中 工 合 工 中 上 四 ○ 四 合 上 合

中 上 合 上 合 乙 四 中 上 老 四 合

一、サー君は野中のいばらの花か
 サーユイユイ
 暮れて帰ればやれほにひきとめる
 マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ

二、サー嬉し恥ずかし浮名を立てて
 サーユイユイ
 主は白百合やれほにままならぬ
 マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ

三、サー田草取るなら十六夜月よ
 サーユイユイ
 二人で気がねにやれほに水入らず
 マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ

四、サー染めて上げましよ紺地の小袖
 サーユイユイ
 掛けておくれよ情けのたすき
 マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ

五、サー沖繩よいとこ一度はめんそうれ
 サーユイユイ
 春夏秋冬緑の島よ
 マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ